

地域科学技術クラスターPTの発足経緯について

内閣府地域科学技術クラスター担当

1. 経緯

○地域科学技術クラスター連携施策群においては、これまでWG会合とTF会合を中心として、各府省の関係施策間の重複排除と連携の強化を図ってきたところ。

○平成18年度後半には、他の連携施策群と同様に、WG会合はPT会合に発展的解消した。(地域科学技術クラスター連携施策群では、まだPT会合は開催されていない。)

○地域科学技術クラスターPTの活動内容は、地域科学技術クラスター連携施策群の運営であることから、当該PTでは、毎回、各府省の課長クラスを当該連携施策群に関わる専門家として招聘することとし、従来のWG会合と同様な体制で運営することとしたい(→ 各府省から専門家(課長クラス)を登録)。

○なお、PT座長は薬師寺議員(総合科学技術会議)、PT座長補佐は清水委員(当該連携施策群主監兼コーディネータ)である。事務局は内閣府科学技術政策担当が務める。

2. 組織図

